

その他 11/30〆切

【公募】アーティスト・サポート・プログラム enoco [study?] #5

[トップ](#) >> [イベント](#) >> [【公募】アーティスト・サポート・プログラム enoco \[study?\] #5](#)



2013年にスタートし、第5回を迎えるアーティスト・サポート・プログラムenoco [study?]

昨年度まで、入選アーティストは3ヶ月間制作を行い、その成果をenoco館内のギャラリーにおいて展覧会形式で発表するという条件で実施してきましたが、今年度より成果の発表の形式や場所を自由に提案いただくプログラムへとリニューアルします。ただし、enocoと対話・協働しながらプログラムを進めること、制作プラン・プロセスを一般に公開するという方針は変わりません。社会や他者に自己をひらきながら、[study=勉強する, 研究する, 検討する, 観察する, 練習する]という姿勢で表現の実験・実践を試みるプランを広く募集します。

昨年度の入選アーティストの選考結果はこちら：[冬木遼太郎](#)

実施レポートは[こちら](#)

【公募概要】

募集人数

1名（1グループ）

応募条件

- ・2017年11月末日時点で40歳以下であること
- ・経歴・国籍は問いませんが、日本語でのコミュニケーションがとれること

入選アーティストに課せられる要件

- ・2017年12月から2018年3月にかけて発表に向けて新作を制作すること
- ・2018年3月以降に応募プランに基づいた制作の成果を発表すること*
- ・制作期間中に参加型のプログラム（ワークショップ等）を1回以上実施すること
- ・enoco館内のアトリエを使用する場合、制作期間中にアトリエ公開を行うこと
- ・展覧会プランについて中間発表を行うこと（1月下旬～2月初旬を予定）
- ・展覧会終了後にプログラムのレポートを提出すること（WEBサイトに公開予定）

*応募プラン・成果発表に関する詳細は公募要項をご覧ください。

サポート内容

- ・制作用アトリエの無償貸与（ルーム11 約35.3㎡を予定／10:00-21:00 月曜休館）
- ・制作補助費20万円の支給
- ・広報サポート（WEBサイト等での広報、プレスリリース発行、チラシ作成など）
- ・enocoスタッフによる制作・展覧会企画実施サポート
- ・ゲスト審査員によるレビュー・アドバイス

応募資料

郵送もしくは持参での受付とします

- ・所定の応募用紙 [【Word】](#) / [【PDF】](#)
 - ・制作プランイメージ資料 ⇒ A3サイズ5枚以内、片面、書式自由
 - ・これまでの作品制作・展覧会実施などの経歴がわかる資料 ⇒ A4サイズ10枚以内、片面、書式自由、映像資料はDVDで30分以内、音源資料はCDで提出
- ※応募資料は原則として返却しません。

また、応募の際にいただいた個人情報は応募に関する問い合わせ・選考結果についての連絡・審査の目的以外に使用しません。

審査方法

プランの創造性・プログラムに取り組む姿勢を重視し、下記に基づき100点満点の審査を行います

1. プランにオリジナリティがあるか、作品としてのクオリティが期待できるか（40点）
2. 社会や他者と関わることへの積極的な姿勢や視点があるか（20点）
3. プランの計画性・実現可能性は十分か（10点）
4. enocoの特性を考慮した提案がされているか（10点）
5. プランが今後の創作活動につながり、将来性・発展性があるか（20点）

募集期間

2017年10月16日（月）～11月30日（木）必着（郵送または持参）

※封筒に「study応募資料」と朱書きしてください。

※持参の場合は、enoco1F事務所まで直接ご持参ください。受付時間10:00-21:00（月曜休館）

スケジュール

2017年10月16日～11月30日 公募期間

2017年12月初旬 入選アーティスト決定・発表

2017年12月～2018年3月 制作期間

2018年3月以降 成果発表の実施

2018年3月末 報告書の提出・公開

審査結果の発表

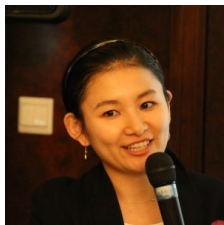
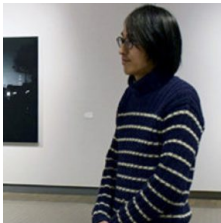
2017年12月中旬 ※応募者全員に通知するとともに、Webサイトにて入選者を発表します。

審査員

奥村 一郎 | ICHIRO OKUMURA

和歌山県立近代美術館 学芸員

「アメリカへ渡った2人 国吉康雄と石垣栄太郎」展（10/7～12/24）が開催中。近年関わった展覧会などは、特集「光について」（2015）、「恩地孝四郎展」（2016）、「鈴木昭男+梅田哲也：点音 in 和歌山 2015」、「なつやすみの美術館 きろくときおく」（2016）など。



小林 瑠音 | RUNE KOBAYASHI

文化政策研究者（神戸大学大学院博士後期課程在籍、日本学術振興会特別研究員）

英国ウォーリック大学大学院ヨーロッパ文化政策・経営専攻修士課程修了。専門は英国文化政策、コミュニティ・アート史。2015年度まで浄土宗應典院アートディレクターを務める。主な企画展に、木村幸恵展「Crystal Canopy」（2012）、前谷康太郎展「samsaara（輪廻転生）」（2013）、mizutama写真展「wearは食べない」（2013）、hyslom展「大家さんの伝書鳩」（2014）、合同展「対内・体内・胎内・タイナイ～四体～」(2015)、武田力展「そらには やんわり うかんでる」（2016）等。京都造形芸術大学アートプロデュース学科非常勤講師。

・大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco] 企画部門

ダウンロード

公募要項 [\[PDF\]](#)

公募チラシ（デザイン：中崎航） [\[PDF\]](#)

応募用紙 [\[Word\]](#) / [\[PDF\]](#)

展示室（ギャラリー）平面図 [\[PDF\]](#)

多目的ルーム（アトリエ）平面図 [\[PDF\]](#)

▼これまでの実施状況



2013年 enoco [study?] #1友枝望

展覧会：「CLUSTER」（2013/10/5～10/19）

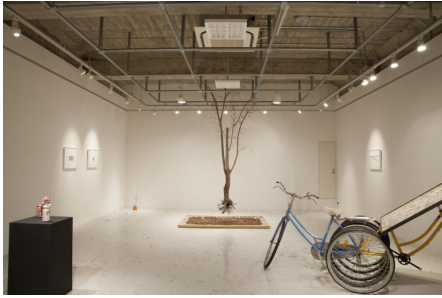


2014年 enoco [study?] #2堀川すなお

展覧会：「解釈と行為 SEEING and PRACTICING」(2015/1/9～1/24)

photo:Takuma Uematsu

2015年 enoco [study?] #3湯川洋康・中安恵一



展覧会：『流暢な習慣』(2016/1/10～1/30)



2016年 enoco[study?] #4 冬木遼太郎

展覧会：『A NEGATIVE EVAGINATE』
(2017/3/11～3/26)

photo:Rui Izuchi

主催・お問い合わせ先

大阪府立江之子島文化芸術創造センター[enoco]

〒550-0006 大阪市西区江之子島2丁目1-34

TEL: 06-6441-8050 FAX: 06-6441-8151 MAIL: art@enokojima-art.jp

(審査結果についてのお問い合わせにはお答えできません)

サイトポリシー・プライバシーポリシー	> enocoについて	> お知らせ・プレスリリース	Like 76 ツイート	
指定管理者	> 事業紹介	> メルマガ登録		
バナー広告募集	> フロアガイド	> ニュースレター		
	> レンタルスペース	> お問い合わせ		
		> アクセス		